

## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 30 日

上場会社名 王子製紙株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 3861

URL <http://www.ojipaper.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠田 和久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 四宮 利勝 TEL (03) 3563-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	316,554	2.0	7,807	△42.7	8,308	△37.0	2,894	—
19 年 3 月期第 1 四半期	310,230	8.3	13,633	△27.6	13,186	△28.2	△1,447	—
19 年 3 月期	1,265,735		63,186		64,110		17,150	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	2 93	2 93
19 年 3 月期第 1 四半期	△ 1 46	—
19 年 3 月期	17 35	17 34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	1,754,732	527,105	29.8	529 84
19 年 3 月期第 1 四半期	1,763,702	519,370	29.0	525 09
19 年 3 月期	1,790,515	523,631	29.0	526 36

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	70,308	△ 23,435	△ 47,360	38,074
19 年 3 月期第 1 四半期	△ 15,488	△ 21,417	33,380	36,038
19 年 3 月期	59,285	△ 92,035	31,042	38,550

### 2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

中間期及び通期の業績予想につきましては、平成 19 年 4 月 27 日に公表しました業績予想から変更はありません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	640,000	2.9	16,500	△ 39.6	15,000	△ 44.7	5,000	△ 13.4	5 06
通期	1,300,000	2.7	45,000	△ 28.8	42,000	△ 34.5	19,000	10.8	19 23

〔注〕詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。〕

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[ (注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。 ]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報等

## (1) 当四半期の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資は増加し、個人消費は底堅く推移するなど、景気は緩やかな拡大を続けていますが、紙パルプ業界においては、原燃料価格の高騰と円安傾向が大きく影響し、厳しい経営環境が続きました。

こうした経営環境の中、当社グループは省エネルギー、省力化をはじめとする経営全般にわたる原価低減諸施策を強力に推進するとともに、原燃料価格上昇分の製品価格への転嫁の取り組みなどを進めましたが、十分に補えず、また、平成19年度税制改正に基づく過年度償却可能限度到達資産に係る償却負担増加の影響もあり、連結経常利益は前年同期に比し37.0%の減益となりました。

当第1四半期(平成19年4月1日から平成19年6月30日まで)の業績は以下のとおりです。

連結売上高	:	316,554百万円	(前年同期比	2.0%増収)
連結営業利益	:	7,807百万円	(前年同期比	42.7%減益)
連結経常利益	:	8,308百万円	(前年同期比	37.0%減益)
連結四半期純利益	:	2,894百万円	(前年同期比	—)

## (2) 各事業セグメントの概況

## ○紙パルプ製品事業

## ・一般洋紙

新聞用紙の販売は、国内向けは前年のサッカーワールドカップ需要の反動により減少しましたが、輸出は増加しました。印刷用紙の販売は、チラシ、カタログなど商業印刷向けを中心に堅調に推移しました。価格は、各品種において価格修正の取り組みを行いました。

## ・包装用紙

包装用紙の販売は、輸出が好調に推移しました。価格は修正が浸透しました。

## ・雑種紙他

衛生用紙の販売は、ティシュペーパー、トイレットロールともに減少しました。価格は上昇しました。

## ・板紙

段ボール原紙の販売は、若干の増加となりました。価格は横ばいで推移しました。

白板紙・高級白板紙の販売は、国内向けは弱含み、輸出は高級白板紙がアジア向けを中心に堅調に推移しました。価格は横ばいで推移しました。

連結売上高	:	172,466百万円	(前年同期比	1.8%増収)
連結営業利益	:	3,168百万円	(前年同期比	62.3%減益)

## ○紙加工製品事業

## ・段ボール(段ボールシート・段ボールケース)

段ボールの販売は、ケースは前年並みとなりましたが、シートは減少しました。昨年4月の段ボール原紙価格の上昇を受けた製品価格修正の取り組みは、一定の成果は得ましたが、当初の目標には到達しませんでした。

## ・その他加工品(紙器・感熱記録紙・粘着紙・紙おむつ他)

感熱記録紙の販売は、国内向けは微減、輸出は微増となりました。価格は、価格修正の取り組みを行いました。

紙おむつの販売は、子供用、大人用ともに増加しました。価格は子供用が上昇しました。

これらにより当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	:	112,084百万円	(前年同期比	4.3%増収)
連結営業利益	:	2,173百万円	(前年同期比	0.5%増益)

## ○木材・緑化事業

当事業の業績は、丸太・製材品の増販などにより、以下のとおりとなりました。

連結売上高	:	12,535百万円	(前年同期比	11.5%増収)
連結営業利益	:	741百万円	(前年同期比	55.8%増益)

## ○その他の事業

当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	:	19,467百万円	(前年同期比	12.3%減収)
連結営業利益	:	1,723百万円	(前年同期比	33.4%減益)

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は1,754,732百万円となり、前連結会計年度末に比べ35,782百万円減少しました。負債は1,227,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ39,256百万円減少しました。また、純資産は527,105百万円となり、3,474百万円増加しました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の29.0%から29.8%に上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は38,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ475百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、特別退職金の支払いが減少したことや売掛金債権流動化の増加などにより、前第1四半期に比べ85,797百万円増の70,308百万円の収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入の減少などにより、前第1四半期に比べ9.4%増の23,435百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、コマーシャルペーパーの減少などにより、前第1四半期に比べ80,741百万円減の47,360百万円の支出となりました。

なお、割引手形を含めた有利子負債期末残高は、前連結会計年度末に比べ40,800百万円の減少となっております。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの中間期および通期の当初業績予想につきましては、前期より生じている重油、古紙をはじめとする原燃料価格の上昇や円安といったコストアップ要因を織り込んでいましたが、現状では更なる原燃料価格の上昇が見込まれております。かかる状況下、当社グループでは、前述のすべてのコストアップ要因について、その影響を取り返すべく、各種製品を再生産可能な適正価格に引き上げる取り組みを続けております。既に印刷情報用紙などでは値上が実現し、一定の成果を上げております。

この業績予想では、期初の予想と変わらず、前年に比し大幅な減益を見込んでおりますが、現在取り組んでいる各種製品の値上について、早期に具体化し、確実に実現させていくとともに、コストダウンを中心としたあらゆる企業努力を推進し、対前年の減益幅の大幅な圧縮に努めてまいります。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

- ・法人税等の処理…法定実効税率をベースとした簡便的な方法によっております。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続を用いております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

該当事項はありません。

### (4) 連結の範囲に関する事項

連結子会社の増減（新規）13社（除外）12社

(株)パックス・モリ、森商事(株)、森紙販売(株)、北海道森紙業(株)、常陸森紙業(株)、三和段ボール(株)、北陸森紙業(株)、長野森紙業(株)、静岡森紙業(株)、東海森紙業(株)、四国森紙業(株)、九州森紙業(株)の12社は、森紙業(株)を存続会社とし合併し、社名を京都森紙業(株)に変更し、さらに、森紙業(株)、森紙販売(株)、北海道森紙業(株)、常陸森紙業(株)、群馬森紙業(株)、新潟森紙業(株)、北陸森紙業(株)、長野森紙業(株)、静岡森紙業(株)、東海森紙業(株)、四国森紙業(株)、九州森紙業(株)、大井製紙(株)の13社を新設分割により設立しました。

## 1 (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期 (平成18年6月30日)		当第1四半期 (平成19年6月30日)		前連結会計年度 (平成19年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
I 流動資産						
1 現金及び預金	36,260		38,332		38,729	
2 受取手形及び売掛金	311,636		288,891		345,385	
3 たな卸資産	151,201		162,830		152,682	
4 その他	46,351		42,099		39,639	
流動資産合計	545,449	30.9	532,153	30.3	576,436	32.2
II 固定資産						
1 有形固定資産	892,525	50.6	911,826	52.0	910,095	50.8
2 無形固定資産	25,988	1.5	23,735	1.3	24,117	1.4
3 投資その他の資産	299,738	17.0	287,017	16.4	279,866	15.6
固定資産合計	1,218,252	69.1	1,222,579	69.7	1,214,079	67.8
資産合計	1,763,702	100.0	1,754,732	100.0	1,790,515	100.0
(負債の部)						
I 流動負債						
1 支払手形及び買掛金	209,669		238,621		234,906	
2 短期借入金	243,933		207,148		208,594	
3 コマーシャルペーパー	178,000		126,000		164,000	
4 1年内償還予定社債	40,000		20,000		20,000	
5 その他	91,787		89,310		92,671	
流動負債合計	763,389	43.3	681,080	38.8	720,172	40.2
II 固定負債						
1 社債	120,000		100,000		100,000	
2 長期借入金	232,649		326,092		327,505	
3 その他	128,291		120,453		119,205	
固定負債合計	480,941	27.3	546,546	31.2	546,711	30.6
負債合計	1,244,331	70.6	1,227,627	70.0	1,266,883	70.8
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金	103,880	5.9	103,880	5.9	103,880	5.8
2 資本剰余金	112,958	6.4	112,965	6.4	112,964	6.3
3 利益剰余金	267,749	15.2	277,877	15.8	280,919	15.7
4 自己株式	△ 41,971	△ 2.4	△ 43,313	△ 2.4	△ 43,233	△ 2.4
株主資本合計	442,616	25.1	451,410	25.7	454,532	25.4
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金	65,582	3.7	57,609	3.3	55,703	3.1
2 繰延ヘッジ損益	—	—	404	0.0	73	0.0
3 土地再評価差額金	3,823	0.2	3,818	0.2	3,818	0.2
4 為替換算調整勘定	△ 354	△ 0.0	10,239	0.6	5,984	0.3
評価・換算差額等合計	69,051	3.9	72,071	4.1	65,579	3.6
III 新株予約権	—	—	81	0.0	60	0.0
IV 少数株主持分	7,703	0.4	3,542	0.2	3,459	0.2
純資産合計	519,370	29.4	527,105	30.0	523,631	29.2
負債純資産合計	1,763,702	100.0	1,754,732	100.0	1,790,515	100.0

## 2 (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
I 売上高	310,230	100.0	316,554	100.0	1,265,735	100.0
II 売上原価	238,692	76.9	249,921	79.0	973,060	76.9
売上総利益	71,538	23.1	66,632	21.0	292,675	23.1
III 販売費及び一般管理費	57,904	18.7	58,825	18.6	229,488	18.1
営業利益	13,633	4.4	7,807	2.4	63,186	5.0
IV 営業外収益	2,914	1.0	3,974	1.3	13,537	1.1
1 受取利息及び配当金	1,292		1,852		3,576	
2 持分法による投資利益	—		1,109		3,107	
3 賃貸料	351		276		1,355	
4 雑収入金	1,270		736		5,496	
V 営業外費用	3,361	1.1	3,473	1.1	12,613	1.0
1 支払利息	2,352		3,068		9,527	
2 持分法による投資損失	314		—		—	
3 雑損失金	694		404		3,085	
経常利益	13,186	4.3	8,308	2.6	64,110	5.1
VI 特別利益	21	0.0	37	0.0	11,953	0.9
1 固定資産売却益	21		35		2,915	
2 投資有価証券売却益	—		1		8,677	
3 その他	—		—		360	
VII 特別損失	14,726	4.8	2,970	0.9	39,572	3.1
1 特別退職金	13,644		1,363		18,244	
2 固定資産除却損	1,081		1,046		7,086	
3 その他	—		560		14,241	
税金等調整前四半期(当期)純利益	△ 1,519	△ 0.5	5,375	1.7	36,491	2.9
法人税等	△ 180	△ 0.0	2,394	0.8	19,142	1.5
少数株主利益(減算)	109	0.0	86	0.0	198	0.0
四半期(当期)純利益(△は損失)	△ 1,447	△ 0.5	2,894	0.9	17,150	1.4

## 3 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高（百万円）	103,880	112,964	280,919	△ 43,233	454,532
第1四半期連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 5,937		△ 5,937
四半期純利益			2,894		2,894
自己株式の取得				△ 91	△ 91
自己株式の処分		1		11	12
株主資本以外の項目の第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）					
第1四半期連結会計期間中の変動額合計（百万円）	—	1	△ 3,042	△ 80	△ 3,121
平成19年6月30日残高（百万円）	103,880	112,965	277,877	△ 43,313	451,410

	評価・換算差額等					新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘 定	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高（百万円）	55,703	73	3,818	5,984	65,579	60	3,459	523,631
第1四半期連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当								△ 5,937
四半期純利益								2,894
自己株式の取得								△ 91
自己株式の処分								12
株主資本以外の項目の第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）	1,906	331	—	4,254	6,492	20	83	6,595
第1四半期連結会計期間中の変動額合計（百万円）	1,906	331	—	4,254	6,492	20	83	3,474
平成19年6月30日残高（百万円）	57,609	404	3,818	10,239	72,071	81	3,542	527,105

## 4 (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	前第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度の要約 連結キャッシュ・フロー 計算書
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金額	金額	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益(△は損失)	△ 1,519	5,375	36,491
2 減価償却費及びのれん償却額	19,414	21,531	82,025
3 退職給付引当金の減少額	△ 11,414	△ 1,009	△ 18,163
4 受取利息及び受取配当金	△ 1,292	△ 1,852	△ 3,576
5 支払利息	2,352	3,068	9,527
6 為替差益	—	△ 624	△ 833
7 持分法による投資損益	314	△ 1,109	△ 3,107
8 投資有価証券売却益	—	△ 1	△ 8,677
9 投資有価証券評価損	—	—	2,954
10 固定資産除却損	1,081	1,230	7,086
11 固定資産売却益	△ 21	△ 35	△ 2,915
12 売上債権の増(△)減額	△ 15,934	56,813	△ 48,799
13 たな卸資産の増加額	△ 8,520	△ 8,902	△ 8,704
14 仕入債務の増加額	5,125	5,448	27,764
15 その他	4,204	2,525	6,151
小 計	△ 6,207	82,458	77,223
1 利息及び配当金の受取額	1,492	2,155	3,814
2 利息の支払額	△ 2,358	△ 3,073	△ 9,503
3 法人税等の支払額	△ 8,415	△ 11,231	△ 12,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,488	70,308	59,285
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 21,909	△ 22,421	△ 106,810
2 有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	1,297	610	6,335
3 投資有価証券の取得による支出	△ 935	△ 992	△ 2,580
4 投資有価証券の売却による収入	17	5	13,579
5 連結子会社株式の追加取得による支出	—	—	△ 2,444
6 貸付金の純増(△)減額	47	△ 619	199
7 その他	64	△ 17	△ 314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21,417	△ 23,435	△ 92,035
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純増減(△)額	△ 2,318	△ 537	△ 387
2 コマーシャルペーパーの純増減(△)額	44,000	△ 38,000	30,000
3 長期借入金の純増減額	△ 2,299	△ 2,797	53,749
4 社債の償還による支出	—	—	△ 40,000
5 親会社による配当金の支払額	△ 5,943	△ 5,937	△ 11,880
6 自己株式の取得による支出	△ 56	△ 91	△ 473
7 その他	△ 1	3	34
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,380	△ 47,360	31,042
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 36	13	623
V. 現金及び現金同等物の減少額	△ 3,562	△ 473	△ 1,083
VI. 現金及び現金同等物期首残高	39,601	38,550	39,601
VII. 合併による現金及び現金同等物増加額	—	—	33
VIII. 連結範囲の変更による現金及び現金同等物減少額	—	△ 1	—
IX. 現金及び現金同等物の期末残高	36,038	38,074	38,550



## 5 セグメント情報

## 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	木材・緑化 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	169,342	107,443	11,247	22,197	310,230	-	310,230
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,446	1,540	7,716	29,630	56,334	(56,334)	-
計	186,789	108,983	18,963	51,828	366,564	(56,334)	310,230
営業費用	178,381	106,823	18,487	49,238	352,931	(56,334)	296,597
営業利益	8,408	2,159	475	2,589	13,633	(-)	13,633

当第1四半期(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	木材・緑化 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	172,466	112,084	12,535	19,467	316,554	-	316,554
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,903	1,952	8,036	30,069	58,962	(58,962)	-
計	191,370	114,036	20,572	49,537	375,517	(58,962)	316,554
営業費用	188,192	111,882	19,830	47,817	367,724	(58,977)	308,747
営業利益	3,177	2,153	741	1,719	7,792	14	7,807

[参考] 前連結会計年度(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	木材・緑化 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	689,544	438,617	49,032	88,541	1,265,735	-	1,265,735
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	68,335	6,713	30,016	126,101	231,167	(231,167)	-
計	757,880	445,330	79,048	214,642	1,496,902	(231,167)	1,265,735
営業費用	722,448	431,229	76,748	203,546	1,433,974	(231,425)	1,202,548
営業利益	35,431	14,100	2,300	11,096	62,928	258	63,186

(注) 1. 事業の種類は、製品の種類・性質及び製造方法の相違等を勘案して区分しております。

## 2. 各事業の主な製品

紙パルプ製品事業 …… 新聞用紙、印刷・情報用紙、包装用紙、衛生用紙、雑種紙、段ボール原紙、白板紙、パルプ他

紙加工製品事業 …… 段ボール、紙器、感熱記録紙、粘着紙、紙おむつ、紙袋製品他

木材・緑化事業 …… 木材、造林、緑化

その他の事業 …… 不動産、コンスターチ、機械、その他